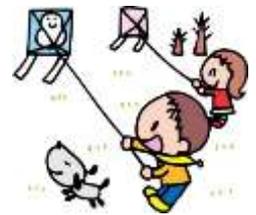




神戸幼稚園 2021年1月26日 NO. 15

2021年が始まりました。今年はいし年ですね。十二支の動物の中でも最も動きがゆっくりの『うし』の年は、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています。ねずみ年の時に蒔いた種が目を出して成長する時期で、まだ結果を求めず、結果につながる道をコツコツと作っていく基礎を積み上げていく時期とされています。まだまだ厳しい状況は続きそうですが、地道にがんばっていきたいですね！

久しぶりに登園してきた子どもたちに冬休みの話を聞いてみると、「雪遊びした」「お母さんとケーキ作ったよ♡」「星をみたら、人間の形に見えた！」などと話してくれました。例年とは違うお正月だったと思いますが、子どもたちは家族と過ごす中でさまざまな楽しみを見つけて、エネルギーを貯め込んできたようですね♡



友だちとの再会にも大喜びの子どもたちは、寒さに負けず友だちと一緒に園庭に出て、元気に遊び始めました！みんなで誘い合って、鬼ごっこやなわとびをすると、体も心もぽっかぽか♡友だちとのつながりを感じながら思い切り遊びを楽しんでいます。



正月遊びを楽しんでいます♪

保育室では、かるたやすごろくなどのカードゲームやこま回しを楽しんでいます。かるたやすごろくは、自分たちで読み進めて遊ぶ姿があり、「次は〇〇ちゃんやな！」と声をかけ合ったり、「〇〇って書いてあるよ！」などと、気づいたことを伝えたりしながら、みんなが楽しく遊ぶためにはどうすればいいか相談したりしながら遊ぶ姿に成長を感じます！



こま回しでは、初めはできなくても、友だちの回している姿に刺激を受けて何度も挑戦してみる姿も多く見られます。「真っ直ぐに投げるといいよ」などと、友だちにアドバイスしたり、友だちのがんばっている様子を見守っていたりすることもあり、自分のことだけでなく相手のことも思ってくれる姿を嬉しく思います。



外では、羽根つきやたこあげも楽しみました。伝承遊びに親しみ、新しい遊びに挑戦する楽しさを感じたり、友だちと気持ちを合わせて一緒に遊びを楽しむ喜びを味わったりしています。



3学期は短いですが、一日一日を大切に素敵な思い出をたくさん作りたいです。また、園生活のまとめの大切な時期であり、小学校に向けて期待を高めたり、規則正しい生活態度や習慣を身につけたりしていきたいと思います。また、感染対策や体調管理をしっかりして、一年の中で最も寒い冬を元気に過ごしたいですね。今学期もよろしくお願い致します。



「どこに置いておけばいいかなあ・・・」

寒い朝も、自分の鉢で育てているパンジーとチューリップに水やりをしに行く子どもたち。「息が白くなるよ!」「はあ〜」「ほんとだ〜」と友だちと不思議そうに話をしています。また、霜が降りていることに気づくと、「雪があるよ!」と嬉しそうに集めて、うまく丸めて塊を作ったりしています。

Aさん:「これ(霜の塊)、〇〇ちゃん(兄弟)に見せたいんだけど、どこに置いておけばいいかなあ?」

Bさん:「外?」

教師:「確かに、お部屋は暖かいしね」

Cさん:「お日様の当たらないところがいいんじゃない?」

Dさん:「でも前、帽子掛け(日陰)にかけておいたら、溶けたよ」

Cさん:「じゃあ、水道の所は?」

Aさん:「家でやったことあるけど、全部なくなっちゃった!」

教師:「どうしてなくなったんだろうね?」

Aさん:「溶けて流れちゃったからじゃない?」

教師:「そうか・・・。他のお友だちにも聞いてみよう!」

Eさん:「鉄のところがいいんじゃない?ほら、こんなところ(鉄の壁)!」

Aさん:「ホントだ!冷たいね」

そこで、**①遊戯室前のテラス**に結び付けておきました。



ところが・・・お昼には溶けてしまっていました(°Д°)

「どうして溶けてしまったのか・・・」鉄の壁は冷たいと聞いたFさんとGさんはさまざまな場所を触り始めました。

Fさん:「こっち(下のコンクリート)の方が冷たいよ!」

Gさん:「ほんとや。今度はこっち(石の階段)にしてみたら?」

翌日、登園後すぐに霜を集めたGさん、次は**②石の階段**に置いておきました。保冷材も一緒に入れたいという提案だったので、一緒に袋に入れました。

でも・・・やはりお昼には溶けてしまっていました(-_-)

氷ができたよ!!

昨年、バケツに入れた水が凍っていたことを思い出した子どもたち。そこで、「これはどうかな?」「このカップもやってみよう!」「こっちにも置いてみるわ」と言いながら、鍋、ヨーグルトカップ、ペットボトル、紙製コップなど、さまざまな容器に水を入れたり、テラスのさまざまな場所に置いたりしました。

降園活動の中で、みんなに予想を聞いてみました。

教師:「氷、できるかなあ?」

Fさん:「上の方だけ氷になるよ」

教師:「どうして上だけなの?」

Hさん:「上に氷があると、バリアされて入ってこやんの!」

教師:「何が?」



Hさん：「冷たい空気が」

教師：「なるほどね。だから上だけ氷になるってこと？」

Hさん：「そう！」

教師：「Fさんの考えと一緒にだね」

話を聞きながら、たくさんの子がうなずいていました。

翌日、子どもたちは、登園するとすぐに氷の様子を見に行っていました！氷ができていない容器もあれば、できていない物もありましたよ。また、みんなで気づいたことを出し合いました。

教師：「Iさん、きのうお家から持ってきた長い入れ物に、お花とお水を入れておいたんだよね。どうなった？」

Iさん：「凍ってなかった。お花いっぱい入れすぎたから凍らなかった。お花入れすぎると凍らないこともあるし、お花一個くらいなら凍る時もある」

教師：「確かにIさんのは、細かいお花がいっぱい入れてあったよね」

Iさん：「一回やってみようと思って、水は多くしたんだよ」

教師：「多くしたら、どうだった？」

Iさん：「固まらなかった・・・」

Aさん：「多すぎても少なすぎてもだめなんじゃない？」

そこで、さまざまな水の量で試してみることにしました！！



また翌日は、さらに寒い朝。たくさん氷ができました。



ここでまた、『できた氷を持って帰りたい！』という子どもたちの声がありました。



Jさん：「ここ(室外機の前)寒いからいいんちゃう？」

Iさん：「じゃあ、ここにしよう！」

と、室外機の前にたくさん置いておきました。

でも、また昼前に溶けてしまいました(-“-)

Gさん：「お日様が当たったんちゃう？」

教師：「朝は当たっていなかったのにな・・・」

Kさん：「太陽は動いていくの！」

教師：「そうか。次は、太陽も見なきゃいけないね！」

みんなで一緒に考えたいことは、クラスの中で話をする時間を作っています。『帰りまで残したい』という目的に向かって、みんなで一緒に考えると、さまざまな意見が出てきます。気づいたことを出し合って、考えて、試して、また考えて・・・試行錯誤を楽しんでいます♪

「持って帰りたい！」という子どもたちのねがいをかなえたい！」と、私たちも一緒に試行錯誤中🌀